

講義概要

ダンスパフォーマンス科

授業科目一覧 ダンスパフォーマンス科

● 1年次

● 2年次

	1年次					2年次				
	授業科目名	修得単位時間	必修・選択	実務経験のある教員等授業	省令基準時数分シラバス提出授業	授業科目名	修得単位時間	必修・選択	実務経験のある教員等授業	省令基準時数分シラバス提出授業
実習・演習科目	HIPHOPマスターa	36	選	○	◆	HIPHOP公演制作	36	必	○	
	HIPHOPマスターb	36	選	○		HOUSE公演制作	36	必	○	
	HOUSEマスターa	36	選	○		POP公演制作	36	必	○	
	HOUSEマスターb	36	選	○		LOCK公演制作	36	必	○	
	POPマスターa	36	選	○		バックダンサー実習	36	選	○	
	POPマスターb	36	選	○	◆	JAZZ振付・構成	36	選	○	
	LOCKマスターa	36	選	○		GROOVE JAZZa	36	選	○	
	LOCKマスターb	36	選	○		GROOVE JAZZb	36	選	○	
	SLOW JAZZa	36	選	○		HIPHOPマスターc	36	選	○	
	SLOW JAZZb	36	選	○		HIPHOPマスターd	36	選	○	
						HOUSEマスターc	36	選	○	
						HOUSEマスターd	36	選	○	
					POPマスターc	36	選	○	◆	
					POPマスターd	36	選	○		
					LOCKマスターc	36	選	○		
					LOCKマスターd	36	選	○		
	小計	360				小計	576			
専門科目	ストリートダンス基礎HIPHOP I	36	必	○		HIPHOP基礎強化	36	必	○	◆
	ストリートダンス基礎HIPHOP II	36	必	○		HOUSE基礎強化	36	必	○	
	ストリートダンス基礎HOUSE I	36	必	○		POP基礎強化	36	必	○	
	ストリートダンス基礎HOUSE II	36	必	○		LOCK基礎強化	36	必	○	
	ストリートダンス基礎POP I	36	必	○		セルフプロデュース II	36	必	○	
	ストリートダンス基礎POP II	36	必	○		ダンサー社会知識	36	必	○	
	ストリートダンス基礎SOUL I	36	必	○						
	ストリートダンス基礎SOUL II	36	必	○						
	セルフプロデュース I	36	必	○						
	オリジナリティ表現	36	必	○						
	JAZZベーシックa	36	選	○						
	JAZZベーシックb	36	選	○						
	小計	432				小計	216			
特別科目	学園行事 I	72	必			学園行事 II	72	必		
	特別講座 I	36	必			特別講座 II	36	必		
	小計	108				小計	108			
一般選択科目	英会話（初級）	36	選			洋楽ポップス	36	選	○	
	ステージセッティング	36	選			オーディション実習	36	選	○	◆
	小計	72				小計	72			

1年次時間数合計 972 時間

2年次時間数合計 972 時間

総時間数	1944	時間
実務経験のある教員等による授業時数	1656	時間
省令で定める授業時数	180	時間

科目名	HIPHOP マスターa								
担当教員	KENTO								
講師紹介	「DANCE@LIVE」等日本国内の様々なBIG BATTLEに優勝。海外でのワークショップ、振付も担当。国対抗WORLD CREW BATTLE参加。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	ストリートダンスに必要な体の使い方を覚える。基礎を磨き、それを崩していくことで自身のダンススタイルの発見を目指す。								
授業概要	HIPHOPダンスに必要不可欠なベーシックステップとその派生を主軸に学ぶ。コレオグラフとしてではなく、カルチャーの時代背景を含めて1つのステップを掘り下げて習得していく。知識と技術を身体に馴染ませ反復して練習していくことで、プロダンサーとしての技術の向上と自信を身に付ける。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション / ストレッチ、アイソレーション、ステップ 2. 基本ステップのレクチャーと派生の仕方① 3. 基本ステップのレクチャーと派生の仕方② 4. リズムトレーニングのくずし方 5. 様々なリズムのキープと応用 6. 基本ステップのレクチャーと派生の仕方③ 7. 基本ステップのレクチャーと派生の仕方④ 8. アイソレーションのバリエーション 9. アイソレーションとリズムのMIX① 10. アイソレーションとリズムのMIX② 11. ステップとアイソレーションのMIX① 12. ステップとアイソレーションのMIX② 13. 全過程を踏まえたルーティン① 14. 全過程を踏まえたルーティン② 15. 全過程を踏まえたFreestyle、まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	授業の中でできないことがあれば必ず次の週までに反復練習を重ねて出来るようにすること。								

科目名	HIPHOP マスターb								
担当教員	KUMA								
講師紹介	クリスブラウン・フロントアクト、オマリオン来日イベント、「MAIN STREET」始め数々のダンスイベントに出演。「バックダンサーズ」等出演。MAY.J振付他。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	ストリートダンスに必要なリズム感覚を養い、基本的な身体の使い方を習得する。								
授業概要	HIPHOP ダンスを踊る上で必要なリズムの基礎練習を中心に、ストリートダンス全般に生かせるようなリズムトレーニングを行う。又、身体の動かし方・筋力トレーニングも行い、基本的な動きをスムーズに行えるようレッスンを進めていく。1人1人の個性や特徴を引き出し、伸ばしていく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介 2. リズムトレーニング＋身体作り① 3. リズムトレーニング＋身体作り② 4. リズムトレーニング＋身体作り③ 5. リズムトレーニング＋身体作り④ 6. リズムトレーニング＋身体作り⑤ 7. リズムトレーニング＋身体作り＋振り付け① 8. リズムトレーニング＋身体作り＋振り付け② 9. リズムトレーニング＋身体作り＋振り付け③ 10. リズムトレーニング＋身体作り＋振り作り④ 11. リズムトレーニング＋身体作り＋振り作り⑤ 12. リズムトレーニング＋身体作り＋振り作り⑥ 13. リズムトレーニング＋身体作り＋振り作り⑦ 14. まとめ 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	HOUSEマスターa								
担当教員	HIRO								
講師紹介	「DANCE FUSION」正式メンバー。「JUSTE DEBOUT 2017 PARIS」優勝他、数々の世界大会受賞。MISIAツアープロデュース等。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	必修授業で学んだ基礎の上に、様々なニーズに対応できる応用力を身につける。 HOUSEダンスを自分のメインジャンルにすると仮定し、より高度な技術を習得すると共に、ダンス全般に活かせる知識を学び、プロダンサーとして必要なスキルの習得を目指す。								
授業概要	ハウス独特のリズム&ステップのベーシックパートを徹底的に練習し、レアなグルーブ感を身体で覚える。ステップの複雑な応用、活用方法を学び、体の使い方を理解し、同時に様々なパーツを使えるよう練習する。また、音楽に対してのアプローチ方法を学び、より高度な表現力を身に付ける。 基礎を集中的に学習した上に様々なニーズに対応できる応用力を習得し、技術と表現力を伸ばしていきながら、プロダンサーに要求されるオリジナリティーを追求していく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション / リズムトレーニング / アイソレーション 2. コアの使い方・組合せ 3. ヒール&トゥを使用した応用 4. ツイスト活用 5. HIPHOPの動きとハウスステップ 6. ハウス応用①/体重移動によるリズム、ステップワーク 7. ハウス応用②/ニュースタイルハッスル活用 8. ハウス応用③/タップリズムトレーニング 9. ハウス応用④/フロアムーブ 10. 曲によるグルーブ変化、対応 11. フリースタイルコンセプト実用 12. 模擬バトル 13. オリジナルムーブ作成① 14. オリジナルムーブ作成② 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	HOUSEマスターb								
担当教員	HIRO								
講師紹介	「DANCE FUSION」正式メンバー。「JUSTE DEBOUT 2017 PARIS」優勝他、数々の世界大会受賞。MISIAツアープロデューサー等。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	HOUSEダンスをメインジャンルにすると仮定し、より高度な技術を習得する。また、ダンス全般に活かせるような知識とプロダンサーに必要な意識を身に着ける。								
授業概要	リズムやグループに対する理解を深め、基本的なことから応用までをマスターする。まずは身体のパーツ毎のアイソレーションや体重移動など、間接的に必要なテクニックを身に付け、ダンサーとしてのレベルアップを目標とします。 更にプロフェッショナルな意識の向上やフリースタイルに対応できるような感覚を習得し、フィジカル面以外での部分の強化を図り、応用力を身に付けます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. リズムトレーニング/アイソレーション 2. 体重移動によるリズム、ステップワーク 3. 音楽のフロウについて 4. スライド、グライド 5. フローティング 6. クラブ活用(応用) 7. ハウス応用/フロアムーブ① 8. フリースタイルコンセプト 9. ダンスヒストリー講座 10. ハウス応用/ムーブクリエイティブ 11. ハウス応用/ステップのつなぎ方 12. ハウス応用/フロアムーブ② 13. ハウス応用/ニュースタイルハッスル 14. ハウス応用/ターン 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	POPマスターa								
担当教員	BUMMEI								
講師紹介	「WDC KANTO ELIMINATION」「Kyushu Popping Summit vol.5 solo,2on2」優勝、他受賞歴多数。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	必修授業で学んだ基礎の上に、様々なニーズに対応できる応用力を身につける。 POPの基礎を組合せての発展、スタイルの理解度を深め、振りやインプロに対応できるダンス力の向上を目指す。								
授業概要	ポッピン・ブーガルー・アニメーションなど、様々なスタイル全般を集中して学習。 リズム、音楽、成立ちを理解し、ダンスで表現できるトレーニングを行う。振り重視ではなく、リズムを感じ、それに合わせて表現する事を重視する為、少人数での発表やインプロへのアプローチ、考え方を学ぶ。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション / 授業内容ガイダンス 2. 基礎の確認と応用①(POPPING等) 3. 基礎の確認と応用②(ベーシックムーブ等) 4. 基礎の確認と応用③(アイソレーション等) 5. 基礎の確認と応用④(ステップ等) 6. スタイルの確認と応用①(トイマン等) 7. スタイルの確認と応用②(スケアクロー等) 8. スタイルの確認と応用③(パペット等) 9. スタイルの確認と応用④(アニメーション) 10. インプロトレーニング① 11. インプロトレーニング② 12. インプロトレーニング③ 13. インプロトレーニング④ 14. 前期まとめ 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解、成果発表								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	POPマスターb								
担当教員	がんそ								
講師紹介	「WDC KANTO ELIMINATION」優勝他。第65回NHK紅白出演、KEYTALK、ジャスティンビーバー「sorry」、オリラジ藤森ver等MV出演。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	必修授業で学んだ基礎の上に、様々なニーズに対応できる応用力を身に付ける。 前期で取得したPOPダンスの応用を組合せての更なる発展、別の角度からのスタイルの理解度を深める。								
授業概要	POPダンスの応用に加え、他ジャンルのダンスにPOPのテクニックを応用する上で必要なスキルを理解し、習得する。POPダンスをメインで考えている学生、そうではない学生も包括的にPOPダンスを学ぶ事でより細かく自身の体の動かし方を把握し、身に付ける。結果、振り付けを踊れるようになることはもちろん、ルーティーンを創作できるスキル、即興でのダンスでもPOPで対応できるようなストリートダンサーとしての知識を取得する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス/リズムトレーニング 2. アイソレーション/ヒットの打ち分け① 3. POPのリズムについて/ステップの種類について① 4. ウェーブ、パントマイムについて① 5. アイソレーション/ヒットの打ち分け② 6. POPのリズムについて/ステップの種類について② 7. ウェーブ、パントマイムについて② 8. これまでの授業の復習と組み合わせ 9. 振り作り+フリー(即興)での踊り方とコツ① 10. 振り作り+フリー(即興)での踊り方とコツ② 11. ダンスバトル練習 12. 授業復習① 13. 授業復習② 14. 後期まとめ/課題レッスン 15. 課題発表 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業理解、成果発表、課題・レポート、また、講義外の活動も評価の参考とする。								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	LOCKマスターa								
担当教員	Atsushi								
講師紹介	「FREESTYLE SESSION JAPAN '08'09」優勝。「JAPAN DANCE DELIGHT vol.15/16/18」FINALIST選出。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	LOCK DANCEの基礎とカルチャーを理解し、LOCK DANCERとしての応用力を身に付ける。								
授業概要	LOCK DANCEの基礎やカルチャーを理解し、それを発展、応用させる。ソロの練習やバトル、またはセッションなども行い、個人レベルの向上を図る。グループワークを通して、ショーの作り方を研究し、ショーケースやコレオグラフィの作り方も学ぶ。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス 2. 基礎① 3. 基礎② 4. 基礎③ 5. 基礎④ 6. 基礎⑤ 7. ルーティーンの作り方 8. 応用① 9. 応用② 10. 応用③ 11. 応用④ 12. 応用⑤ 13. バトル 14. LOCKINGカルチャーについて 15. まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)								
テキスト・参考書等	授業の特性上不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	LOCKマスターb								
担当教員	Atsushi								
講師紹介	「FREESTYLE SESSION JAPAN '08'09」優勝。「JAPAN DANCE DELIGHT vol.15/16/18」FINALIST選出。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	LOCKダンスの基盤を底上げすると共に、個人個人の見せ方や技術の成長を促す。振り作りやソロの向上を目的とします。								
授業概要	前期で行った基礎をベースにLOCKダンスの応用(難解な振りの構築、個人個人のソロのレベルアップ)を促します。生徒自身で振りを作らせ理解、解説を行い、振り付けだけでなくソロダンス(バトルやショーケース)を習得する事によりダンススキルの向上、成長を目標とします。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. LOCKダンス(基礎復習) 2. LOCKダンス(応用)① 3. LOCKダンス(応用)② 4. LOCKダンス(応用)③ 5. LOCKダンス(応用)④ 6. LOCKダンス(応用)⑤ 7. ソロダンス演習 8. 振り作り/チームダンス① 9. LOCKダンスカルチャー講座 10. LOCKダンス(応用)⑥ 11. LOCKダンス(応用)⑦ 12. LOCKダンス(応用)⑧ 13. LOCKダンス(応用)⑨ 14. 振り作り/チームダンス② 15. まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	SLOW JAZZa								
担当教員	井出 恵理子								
講師紹介	SMAP主催ドームツアー2012「GIFT OF SMAP」「Kinki kids concert20.2.21」のツアーダンサー他、多数の舞台にも出演。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	必修授業で学んだ基礎の上に、様々なニーズに対応できる応用力を身につける。								
授業概要	筋力や柔軟性といった基礎となる身体作り、ジャズに必要な立ち方や姿勢等を学ぶ。徐々に音の中での動き方、表現方法を学び、プリエやタンジュからのターン等のテクニックをしっかりと習得、コンビネーションへと繋げていく。 授業後半はスローテンポの曲に合わせ、オリジナリティを幅広く引き出していけるスキルと表現力を身に付ける。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション / レッソンの流れ 2. 基本的な体の使い方、立ち方や姿勢等について 3. ジャズ基礎(クロスフロア等) 4. 振付基礎① 5. 振付基礎② 6. 振付基礎③ 7. 振付(体を大きく使う振付)① 8. 振付(体を大きく使う振付)② 9. 振付(体を大きく使う振付)③ 10. 振付(ターン等を組み合わせた振付)① 11. 振付(ターン等を組み合わせた振付)② 12. 振付(ターン等を組み合わせた振付)③ 13. 実践① 14. 実践② 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、成果発表								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、必要な場合は着替えを持参する事。基本的には裸足でのレッスンとなります。必要な方は靴下や								

科目名	SLOW JAZZb								
担当教員	井出 恵理子								
講師紹介	SMAP主催ドームツアー2012「GIFT OF SMAP」「Kinki kids concert20.2.21」のツアーダンサー他、多数の舞台にも出演。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	前期で学んだ基礎を活かし、発展させて自分なりのSLOW JAZZの表現力を身に付ける。								
授業概要	前期で学んだSLOW JAZZの基礎を活かし、後期では表現力の強化を主として授業を行います。SLOW JAZZに必要なダンススキルに加え、見る、触る、呼吸をするなど普段何気なく行っている動作をダンス中へも自然に取り入れられる表現力、演技力を身に付けます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後期授業ガイダンス / ゆっくりなコンビネーション① 2. ゆっくりなコンビネーション② 3. ゆっくりなコンビネーション③ 4. ゆっくりなコンビネーション④ 5. クロスフロアを取り入れた振り付け① 6. クロスフロアを取り入れた振り付け② 7. クロスフロアを取り入れた振り付け③ 8. クロスフロアを取り入れた振り付け④ 9. フリーの部分を入れる① 10. フリーの部分を入れる② 11. フリーの部分を入れる③ 12. フリーの部分を入れる④ 13. 少し高度な振り付け① 14. 少し高度な振り付け② 15. 少し高度な振り付け③ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、必要な場合は着替えを持参する事。基本的には裸足でのレッスンとなります。必要な方は靴下や								

科目名	ストリートダンス基礎HIPHOP I								
担当教員	SHINICHI								
講師紹介	倅田來未のPV、ツアーダンサー他、ツアー参加。「MUSIC AWARDS」等多数出演。「DANCE@LIVE FAINAL 2006」HIPHOP SIDE優勝								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	正しい基礎を身に付け、2年間で着実なスキルアップを図る為の土台を作る								
授業概要	ヒップホップばかりでなく、ストリートダンス全般において必要不可欠となる基本的な動きを1から丁寧に指導。この先、着実な上達を図っていく為のしっかりとした基礎作りを行う。アイソレーションを始め、アップ・ダウン等のリズムの取り方を習得し、クラブやスマーフなどの基礎的なステップを学習していく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション / HIPHOPダンスについての講義 2. ストレッチ、リズムトレーニング、ランニングマン 3. ストレッチ、リズムトレーニング、ランニングマン 4. ストレッチ / アイソレーション(首・上体・下半身) 5. ストレッチ / アイソレーション(首・上体・下半身) 6. ストレッチ、リズムトレーニング、基本動作①(シェイク等) 7. ストレッチ、リズムトレーニング、基本動作①(シェイク等) 8. ストレッチ、基本動作②(ニュージャックスウイング等)、ルーティン 9. ストレッチ、基本動作②(ニュージャックスウイング等)、ルーティン 10. ストレッチ、リズム/基本動作③(ウェーブ等)ルーティン 11. ストレッチ、リズム/基本動作③(ウェーブ等)ルーティン 12. ルーティン① 13. ルーティン② 14. ルーティン③ 15. テスト 								
評価方法	基礎的な体の使い方や動きが正しく出来るか								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	ストリートダンス基礎HIPHOP II								
担当教員	SHINICHI								
講師紹介	倅田來未のPV、ツアーダンサー他、ツアー参加。「MUSIC AWARDS」等多数出演。「DANCE@LIVE FAINAL 2006」HIPHOP SIDE優勝								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	正しい基礎を身に付け、2年間で着実なスキルアップを図る為の土台を作る								
授業概要	ヒップホップばかりでなく、ストリートダンス全般において必要不可欠となる基本的な動きを1から丁寧に指導。この先、着実な上達を図っていく為のしっかりとした基礎作りを行う。アイソレーションを始め、アップ・ダウン等のリズムの取り方を習得し、クラブやスマーフなどの基礎的なステップを学習していく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ストレッチ、リズムトレーニング 2. ストレッチ、リズムトレーニング、ランニングマン 3. ストレッチ、アイソレーション(首・上体・下半身) 4. ストレッチ、基本動作④(トギー等)、振付け 5. ストレッチ、基本動作④(トギー等)、振付け 6. ストレッチ、振付け 7. ストレッチ、基本動作⑤(ペーパーシート、ハウスステップ)、ルーティン 8. ストレッチ、基本動作⑤(ペーパーシート、ハウスステップ)、ルーティン 9. ストレッチ、基本動作⑥(フィンガータット)、ルーティン 10. ストレッチ、基本動作⑥(フィンガータット)、ルーティン 11. ストレッチ、フリーの練習、サークル 12. ルーティン① 13. ルーティン② 14. ルーティン③ 15. テスト 								
評価方法	基礎的な体の使い方や動きが正しく出来るか								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	ストリートダンス基礎HOUSE I								
担当教員	HIRO								
講師紹介	「DANCE FUSION」正式メンバー。「JUSTE DEBOUT 2017 PARIS」優勝他、数々の世界大会受賞。MISIAツアープロデュース等。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	HOUSEダンスの基本ステップの習得。ダンスの基礎となるリズムトレーニングとフリースタイルの練習方法を学び、自分の力で振付を作れるようになる。								
授業概要	ハウスの基本的なリズムの取り方や、独特の体の動かし方を基礎から重点的に学習し、コンビネーションへと繋げていく為の着実な基礎作りを行う。反復練習を繰り返し、ベーシックなリズムワークからパドブレやツーステップ等の基本的なステップを体得する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション / HOUSEダンスについての講義 2. ストレッチ、リズムトレーニング / 基本ステップ①(ヒール&トゥ等) 3. " / 基本ステップ②(ルー・スレグス等) 4. " / 基本ステップ③(サイドウォーク等) 5. " / 基本ステップ④(スワル等) 6. " / 基本ステップ⑤(パドブレ等) 7. " / 基本ステップ⑥(ステップターン等) 8. 基本ステップ①-⑥の組合せ 9. ストレッチ、リズムトレーニング / 基本の4つのフォーム 10. " / 基本ステップ⑦(3リズム、クロスステップ) 11. " / 基本ステップ⑧(チェイス、シャッフル等) 12. " / 基本ステップ⑨(シャッフル応用) 13. " / 基本ステップ⑩(ジャック、ファーマー等) 14. " / 基本ステップ⑪(クロスウォーク) 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	ストリートダンス基礎HOUSE II								
担当教員	HIRO								
講師紹介	「DANCE FUSION」正式メンバー。「JUSTE DEBOUT 2017 PARIS」優勝他、数々の世界大会受賞。MISIAツアープロデュース等。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	HOUSEダンスの基本ステップの習得。ダンスの基礎となるリズムトレーニングとフリースタイルの練習方法を学び、自分の力で振付を作れるようになる。								
授業概要	ハウスの基本的なリズムの取り方や、独特の体の動かし方を基礎から重点的に学習し、コンビネーションへと繋げていく為の着実な基礎作りを行う。反復練習を繰り返し、ベーシックなリズムワークからパドブレやツーステップ等の基本的なステップを体得する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. HOUSEダンスについての講義 2. ストレッチ、リズムトレーニング / 基本ムーヴ(ツイスト、トレイン等) 3. " / 基本ムーヴ(ツイスト、トレイン等) 4. ストレッチ、基本ムーヴ / コンビネーション 5. ストレッチ、基本ムーヴ / コンビネーション 6. ストレッチ、リズムトレーニング / 基本ムーヴ③(ステップターン等) 7. " / 基本ムーヴ③(パドブレターン等) 8. " / 基本ムーヴ④(サルサホップ、八の字等) 9. " / 基本ムーヴ④(サルサホップ、八の字等) 10. " / 基本ムーヴ⑤(サイドウォーク等) 11. " / 基本ムーヴ⑤(サイドウォーク等) 12. " / 基本ムーヴ⑥(サイドスケート、スケートステップ等) 13. " / 基本ムーヴ⑥(サイドスケート、スケートステップ等) 14. ストレッチ、ルーティン② 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	ストリートダンス基礎POP I								
担当教員	CGEO								
講師紹介	「JAPAN DANCE DELIGHT」等、優勝上位入賞。「UK Bboy Championship」「Juste Debout」等の世界大会日本代表を歴任。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	様々なボディコントロールやPOPダンス特有の筋肉の弾き方、ブガールスタイルやアニメーションスタイル、ロボットダンスの基本的なテクニックの習得。								
授業概要	POPダンスに必要なテクニックや様々なスタイルの習得し、自由に踊れるように授業を進める。ブガールスタイルのフレスノやマスターオーフレックス、ロール等にプラスでアニメーションスタイルのウェーブやキングコブラ、スライド等を交ぜ合わせて自らルーティーンを作れるように基本的な事の反復練習を行う。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション / POPダンスについての講義 2. 基本動作①POP(手首、腕、首、胸、足)、フレスノ 3. 基本動作①+基本ステップ(ウォークアウト等) 4. 基本動作①+基本ステップ(オールドマン等) 5. 基本動作①+基礎(マスター0、フレックス、ネック等) 6. 基本動作②(ウェーブ等) 7. 基本動作②+基礎(胸、腰のロール等) 8. 基本動作復習、コンビネーション 9. 基本動作復習、コンビネーションプラススライド 10. 基本動作③(コブラ、タット等) 11. 基本動作③+スタイルの習得(パペット等) 12. 基本動作④(ボトムファースト、ロメツイスト等) 13. 基本動作④(ツイストオーアレックス、エジブジャン) 14. 授業内発表 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	ストリートダンス基礎POP II								
担当教員	CGEO								
講師紹介	「JAPAN DANCE DELIGHT」等、優勝上位入賞。「UK Bboy Championship」「Juste Debout」等の世界大会日本代表を歴任。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	様々なボディコントロールやPOPダンス特有の筋肉の弾き方、フガールスタイルやアニメーションスタイル、ロボットダンスの基本的なテクニックの習得。								
授業概要	POPダンスに必要なテクニックや様々なスタイルの習得し、自由に踊れるように授業を進める。 フガールスタイルのフリーズノやマスターオーフレックス、ロール等にプラスでアニメーションスタイルのウェーブやキングコブラ、スライド等を交ぜ合わせて自らルーティーンを作れるように基本的な事の反復練習を行う。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本動作復習、コンビネーション 2. 基本動作⑤(リストPOP、2つ・1つ取り等)、リズムトレーニング 3. 基本動作⑤(リストPOP、2つ・1つ取り等)、リズムトレーニング 4. 基本動作⑥(リストPOP、ホトムファースト他)、コンビネーション 5. 基本動作⑥(リストPOP、ホトムファースト他)、コンビネーション 6. 基本動作⑦(リストPOP、ホトムフガールファースト)、コンビネーション 7. 基本動作⑦(リストPOP、ホトムフガールファースト)、コンビネーション 8. 基本動作復習、コンビネーション 9. 基本動作⑧(フガールロール等)、コンビネーション、振付 10. 基本動作⑧(フガールロール等)、コンビネーション、振付 11. 基本動作⑨(フガールロール等)、コンビネーション、リズムトレーニング 12. 基本動作⑨(フガールロール等)、コンビネーション、リズムトレーニング 13. 基本動作復習、コンビネーション 14. 基本動作復習、コンビネーション、オールマン 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	ストリートダンス基礎SOUL I								
担当教員	SETO								
講師紹介	DANCE TEAM Be BOP Crewメンバー。現在はクラブシーンを中心に振付け、演出、座長(SNAZZY DOGS) WDC等、他幅広いメディアで活躍。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	正しい基礎を身に付け、2年間で着実なスキルアップを図る為の土台を作る。								
授業概要	ソウル・ロックの基本的なステップ、リズムの取り方や体の動かし方を幅広く学習していく。ソウルのノリを身に付け、更にコンビネーションへと繋げていく。レッスンでは、ロックの要素を交え、リズムワーク・ノック・ポイント等のベーシックな動きによるコンビネーションにチャレンジする。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション / SOULダンスについての講義 2. リズムトレーニング、アイソレーション、アップ・ダウン(表) 3. リズムトレーニング、アイソレーション、アップ・ダウン(裏) 4. 基本ステップ・動作①(ウォーターゲイト等) 5. 基本ステップ・動作①(THE LOCK, point等) 6. 基本ステップ・動作②(ブレイクダウン等) 7. 基本ステップ・動作②(スキーターラビット等) 8. 基本ステップ・動作③(ペンギン等) 9. 基本ステップ・動作③(ウィッチウエイ等) 10. 基本復習、ルーティン① 11. 基本復習、ルーティン② 12. 振り付け① 13. 振り付け② 14. 振り付け③ 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	ストリートダンス基礎SOUL II								
担当教員	SETO								
講師紹介	DANCE TEAM Be BOP Crewメンバー。現在はクラブシーンを中心に振付け、演出、座長(SNAZZY DOGS) WDC等、他幅広いメディアで活躍。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	正しい基礎を身に付け、2年間で着実なスキルアップを図る為の土台を作る。								
授業概要	ソウル・ロックの基本的なステップ、リズムの取り方や体の動かし方を幅広く学習していく。ソウルのノリを身に付け、更にコンビネーションへと繋げていく。レッスンでは、ロックの要素を交え、リズムワーク・ノック・ポイント等のベーシックな動きによるコンビネーションにチャレンジする。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. SOUL LOCKIN ダンスについての講義 2. リズムトレーニング、アイソレーション、アップ・ダウン(前期の復習) 3. リズムトレーニング、アイソレーション、アップ・ダウン(前期の復習) 4. 基本ステップ・動作④ (Soul 70's Dance) 5. 基本ステップ・動作④ (LOCKIN move) 6. 基本ステップ・動作⑤ (Soul 80's Dance) 7. 基本ステップ・動作⑤ (LOCKIN move) 8. 基本ステップ・動作⑥ (Funky Jump, wichaway) 9. 基本ステップ・動作⑥ (ニーダウン、シフトのフロアムーブ) 10. 基本復習、ルーティン① 11. 基本復習、ルーティン② 12. 振り付け① 13. 振り付け② 14. 振り付け③ 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	セルフプロデュース I								
担当教員	HIRO								
講師紹介	「DANCE FUSION」正式メンバー。「JUSTE DEBOUT 2017 PARIS」優勝他、数々の世界大会受賞。MISIAツアープロデュース等。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	ダンススキル以外のことを修得し、プレイヤーとしての付加価値を上げると共にその他の進路選択肢を広げられる。								
授業概要	セルフプロデュースではダンスシーンに需要がある様々な周辺知識を学ぶ。Iではプロダンサーを目指す上で不可欠なセルフプロデュース力として、プロフィール作成、音源編集、英語、インストラクター術等を中心に自己のダンス活動における日々の実践を目指す。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロフィール作成① 2. プロフィール作成② 3. ダンサー社会知識 4. ダンスヒストリー 5. SNS講座 6. 英会話① 7. 英会話② 8. 英会話③ 9. 音楽について 10. 音源編集① 11. 音源編集② 12. 照明講座 13. インストラクター実習① 14. インストラクター実習② 15. まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	筆記用具等持参								

科目名	オリジナリティ表現								
担当教員	HORIE								
講師紹介	84年16歳でBREAKダンサー。浜崎あゆみ・パクヨンハ・KAT-TUN他コンサートツアーの振付担当。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	ダンサー、表現者、エンターテイナーに必要とされる技術、知識の習得。自分自身の性格に基づいたオリジナリティ溢れる表現の習得を目指す。								
授業概要	プロフェッショナルなダンサーに必要な要素とは何か？授業ではエンターテイナーの本質を学び、表現力を鍛え、心身共に豊かな表現力を持つダンサーを育成する。また、ダンスの歴史を掘り下げ、あらゆる時代のダンスや音楽背景を知る事により、ダンサーとしての知識を深め、ダンサーとして生活していく為の知識、ダンス生活術などについても学ぶ。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション / ダンサー、表現者に必要とされること 2. 自己表現①/自分を知る、自分を探す、自分用ダンスノートの作成 3. ダンスの歴史①/20世紀のダンスと音楽の流れ 4. プロフェッショナルテクニック①/コリオグラファーについて 5. 自己表現②/オリジナリティを活かした前説の創作 6. ダンスの歴史②/HIPHOPカルチャーの歴史 7. 自己表現③/オリジナルRAPの創作 8. ダンス生活術/ダンス業界の構造、職業の研究 9. ダンスの歴史③/映画「BEAT STREET」からダンスの歴史を読み解く 10. プロフェッショナルテクニック②/オーディション概要 11. 自己表現④/個性を活かしたMC術の創作 12. ダンスステップ①/BE-BOP 13. ダンスステップ②/フロアー技 14. 前期授業のまとめ 15. テスト(レポート提出) 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解、ダンスを通じた自己表現、感情解放が来ているか								
テキスト・参考書等	DVD等の映像資料								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	JAZZベーシックa								
担当教員	Ryosuke								
講師紹介	JAZZ、HIPHOP、コンテポラリー、JAZZ FUNK等幅広いダンスを修得。SMAPツアーダンサー、嵐等多くの楽曲でバックダンサーや総合演出を手掛ける。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	ジャズダンスに必要な基礎的な体の使い方、表現方法を身に付け、テクニックの基礎を習得し2年間で着実なスキルアップを図る為の土台作りを目指す。								
授業概要	<p>ジャズダンスに必要な体の使い方をゼロから学ぶ。個人差のある体の特徴を理解し、それぞれに合った動かし方や体の線の作り方を追求していく。</p> <p>テクニックに関しては、できなくてもまず体を動かし、個別にアドバイスをしながら会得するまで反復練習を繰り返す。</p> <p>目標に近づく為にどのような部分を意識するべきか、練習方法についても各自に合った方法を見出し、スキルアップに繋がります。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション / JAZZダンスについての講義 2. 体の使い方基礎① 3. 体の使い方基礎② 4. 体の使い方基礎③ 5. テクニック基礎① 6. テクニック基礎② 7. テクニック基礎③ 8. テクニック基礎④ 9. 体の使い方/テクニック組合せ① 10. 体の使い方/テクニック組合せ② 11. 体の使い方/テクニック組合せ③ 12. 体の使い方/テクニック組合せ④ 13. 体の使い方/テクニック組合せ⑤ 14. 授業内発表 15. 授業の振り返り、まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	JAZZベーシックb								
担当教員	Ryosuke								
講師紹介	JAZZ、HIPHOP、コンテポラリー、JAZZ FUNK等幅広いダンスを修得。SMAPツアーダンサー、嵐等多くの楽曲でバックダンサーや総合演出を手掛ける。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	学生が前期で学んだ基礎を元に応用を習得し、実用的なラインを身につけることによりJAZZダンスの表現力を身に付ける。								
授業概要	基本的なテクニックの反復練習と共にそれらを組み合わせた応用テクニックを学んでいきます。テクニックだけでなく、ストレッチや振り付けも取り入れ、身体の基礎作りを行いながら総合的なJAZZダンスの表現力を身に付けます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後期授業のガイダンス / 基礎練習 2. 基礎テクニックの復習① 3. 基礎テクニックの復習② 4. 基礎テクニック応用① 5. 基礎テクニック応用② 6. 基礎テクニック応用③ 7. 基礎テクニック応用④ 8. 基礎テクニック～振り付け① 9. 基礎テクニック～振り付け② 10. 基礎テクニック～振り付け③ 11. 基礎テクニック～振り付け④ 12. 応用テクニック～振り付け① 13. 応用テクニック～振り付け② 14. 応用テクニック～振り付け③ 15. 応用テクニック～振り付け④ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	学園行事Ⅰ								
担当教員	船場吉行(他、教員が担当)								
講師紹介	1993年東京アナウンス学院就任。東放学園高等専修学校を経て、東京アナウンス学院放送声優科を担当、進路指導に携わる。現在は学科を離れ経験を活かした授業等を担当の他、マネジメント業務に従事する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	通年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学園行事を通じて様々なイベントを体験することで協調性とコミュニケーション能力が高まる ・社会性。一定のルールの下で行動することで、自身がクラスやグループの一員であることを自覚する。 								
授業概要	<p>学生が2年間で体験する学園生活の中で、起点となるイベントは卒業後振り返ってみても実に思い出深いものになることが多い。本校の学園行事は日頃の専門教育から離れて学科間を越え、時には学校間を越えて、ひとつのことを共に経験する過程で得る、貴重な体験を積んでほしい。通り一遍の参加ではなく、積極的な取り組みを願う。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラス合宿1日目／アドバイザー企画のイベント、面接他 2. クラス合宿2日目／アドバイザー企画のイベント、面接他 3. 東放学園合同運動会／エントリー種目、全員参加種目他 4. スポーツ大会／クラス対抗ドッチボール参加、他 5. 学園祭①／クラス・クラブ、有志団体参加他 6. 学園祭②／クラス・クラブ、有志団体参加他 								
評価方法	イベント毎に参加した際の平常点を総合して判断								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	現地集合のイベントの場合は交通事情をよく調べてから行動を起こすこと								

科目名	特別講座 I								
担当教員	特別講師								
講師紹介	講師はオムニバ形式。学科担当者がゲスト講師を決める。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	通年
到達目標	常に現場の需要に対応していく為、最新のスタイルや流行のジャンルに触れ技術と感度を高める								
授業概要	オールジャンルにおける流行スタイル、話題のダンサーによるレッスンやめったに受けられない一流ダンサーによるレッスン、海外ダンサーによるレッスン等、年間通して多数の特別授業を行います。普段の授業では接することのない講師や内容に接し、視野を広げると共にプロダンサーを目指した意識の向上を図ります。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 特別ダンスレッスン① 3. 特別ダンスレッスン② 4. 特別ダンスレッスン③ 5. 振り返り 6. 特別ダンスレッスン④ 7. 特別ダンスレッスン⑤ 8. 特別ダンスレッスン⑥ 9. 振り返り 10. 特別ダンスレッスン⑦ 11. 特別ダンスレッスン⑧ 12. 特別ダンスレッスン⑨ 13. 特別ダンスレッスン⑩ 14. 振り返り 15. まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事								

科目名	英会話(初級)								
担当教員	James Ferner								
講師紹介	ニュージャージー大学音楽教育専攻卒業。ニューヨークの保険会社に勤務、その後外国語学校で英語の講師に就く。1992年来日。現在、東京アナウンス学院の他にも外国語学校や短期大学などで英語を教えている。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	基礎的な英語表現を身につけ、英語で外国人と簡単なコミュニケーションできるようになる。								
授業概要	<p>実用的な英語のトレーニングをします。</p> <p>★実践的なロールプレイ・スピーチ・対話などで自信をつけ、旅行中などの外国人との初対面のコミュニケーション楽しくできるようになる。★レベル問わずに</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、自己紹介 2. 電話の話し 3. 天気予報、アナウンス 4. 人の見た目、ロールプレイ 5. 映画に誘う 6. ホテルのチェックイン 7. 服の買物 8. 旅行のいろいろ 9. ルール/注意 10. レストランの注文 11. このあいだ何をしていましたか？ 12. パーティーの招待 13. 薬のCM 14. 料理のTV番組 15. 道を聞く、ロールプレイゲーム 								
評価方法	出席率と授業中の態度・やる気								
テキスト・参考書等	毎回講師が配るプリント								
備考	間違いを気にせずに楽しく英語を話しましょう！								

科目名	ステージセッティング									
担当教員	中島 信行									
講師紹介	東京アナウンス学院教員／東京アナウンス学院卒業後、劇団前進座付属養成所を経て俳優として児童演劇劇団で各地方に俳優として出演。またグループでユニットを作り小劇場で演劇公演を行う。その後舞台の大道具製作も経験しながら本学園では演劇を志す学生に演技と舞台制作のサポートも行っている。									
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期	
到達目標	舞台の仕込みやバラシ等で使用する道具の名称や使い方が分かるようになります。最終的に簡単な舞台を作りあげます。									
授業概要	演劇の舞台基礎知識を学び、実習で工具や材木を使いながら舞台が出来て行く過程を学んでいきます。また照明の回では機材の扱い方を学びながら、俳優がステージに立った時の明かりの当て方を学びます。									
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 舞台用語説明 I 3. 舞台用語説明 II 4. 舞台用語説明 III 5. 工具と材木の種類の説明と扱い方の説明 6. 舞台の基礎説明 I 平台と箱馬の説明と使い方 7. 舞台の基礎説明 II パネル説明と使い方 8. 舞台の基礎説明 III 袖幕の説明と使い方 9. 舞台の基礎説明 IV 舞台で使うロープの説明と使い方 10. 照明の基礎説明 I 照明機材の説明と使い方 11. 照明の基礎説明 II 照明機材の説明と使い方 12. 舞台を作る I 尺貫法の説明と舞台図面の見方 13. 舞台を作る II バミリの仕方と水系の使い方 14. 舞台を作る III 図面を元に舞台を作る 15. 総まとめ 試験 									
評価方法	出席状況 授業への取り組み ・試験課題の状況									
テキスト・参考書等	プリント教材 ・卒業公演・進級発表・中間発表 舞台演劇のDVD									
備考	特になし									

科目名	HIPHOP公演制作								
担当教員	SHINICHI								
講師紹介	俵田來未のPV、ツアーダンサー他、ツアー参加。「MUSIC AWARDS」等多数出演。「DANCE@LIVE FAINAL 2006」HIPHOP SIDE優勝。担教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	公演制作を通して、振付・構成のやり方、又テーマに沿った演出の付け方等を修得する。								
授業概要	学生が主体となって企画・制作を手掛ける卒業公演において、2年間の集大成となるHIPHOPの作品制作を行う。これまでの授業で体得してきたスキルを活かし、応用力を磨き、振付、構成を行っていく。本番での発表を含めダンス作品の制作能力を身に付ける。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業公演台本の確認、作品内容の打合せ 2. 振付けに必要なステップや動きの修得 3. 振付けに必要なステップや動きの修得 4. 振付けに必要なステップや動きの修得 5. 具体的な振付けスタート 6. 振付け 7. 振付け 8. 振付け 9. 振付け・構成 10. 振付け・構成 11. 振付け・構成 12. 振入れ・構成完成、踊り込み 13. 踊りこみ 14. 衣装合わせ、リハーサル 15. リハーサル 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	HOUSE公演制作								
担当教員	HIRO								
講師紹介	「DANCE FUSION」正式メンバー。「JUSTE DEBOUT 2017 PARIS」優勝他、数々の世界大会受賞。MISIAツアープロデュース等。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	公演制作を通して、振付・構成のやり方、又テーマに沿った演出の付け方等を修得する。								
授業概要	学生が主体となって企画・制作を手掛ける卒業公演において、2年間の集大成となるHOUSEの作品制作を行う。これまでの授業で習得してきたスキルを活かし、応用力を磨き、振付、構成を行っていく。本番での発表を含めダンス作品の制作能力を身に付ける。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 音源制作、イメージ固め 2. 振り入れ① 3. 振り入れ② 4. 振り入れ③ 5. 構成① 6. 振り入れ④ 7. 振り入れ⑤ 8. 振り入れ⑥ 9. 構成② 10. 振り入れ⑦ 11. 振り入れ⑧ 12. 振り入れ⑨ 13. まとめ(内容確認・振り固め) 14. リハーサル① 15. リハーサル② 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	POP公演制作								
担当教員	CGEO								
講師紹介	「JAPAN DANCE DELIGHT」等、優勝上位入賞。「UK Bboy Championship」「Juste Debout」等の世界大会日本代表を歴任。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	公演制作を通して、今まで学んできたテクニックを応用し、自由に踊れるようにする事と、それらに自分の感性を混ぜ合わせて、振付・構成のやり方、又テーマに沿った演出の付け方等を修得。								
授業概要	学生が主体となって企画・制作を手掛ける卒業公演において、2年間の集大成となるPOPの作品制作を行う。これまでの授業で習得してきたスキルを活かし、応用力を磨き、振付・構成を行っていく。本番での発表を含めダンス作品の制作能力を身に付ける。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業公演台本の確認、作品内容の打合せ 2. 振付けに必要なステップや動きの修得 3. 振付けに必要なステップや動きの修得 4. 振付けに必要なステップや動きの修得 5. 具体的な振付けスタート 6. 振付け 7. 振付け 8. 振付け 9. 振付け・構成 10. 振付け・構成 11. 振付け・構成 12. 振入れ・構成完成、踊り込み 13. 踊りこみ 14. 衣装合わせ、リハーサル 15. リハーサル 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	LOCK公演制作								
担当教員	SETO								
講師紹介	DANCE TEAM Be BOP Crewメンバー。現在はクラブシーンを中心に振付け、演出、座長(SNAZZY DOGS) WDC等、他幅広いメディアで活躍。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	公演制作を通して、ダンススキルの向上に加え、振付・構成のやり方、又テーマに沿った演出の付け方等を修得する。 また、チームワークや団結力をしっかりとつけて卒業後も社会人としての人間力も向上を目指す。								
授業概要	LOCKINやSOULダンスの反復練習をしっかりと行い、公演に向けて学生が主体となって企画・制作を手掛けて卒業公演2年間の集大成となるLOCKの作品制作を行う。これまでの授業で習得してきたスキルを活かし、応用力を磨き、振付・構成を行っていく。本番での発表を含めダンス作品の制作能力を身に付ける。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. SOULダンス(ウォーターゲート、ブレイクダウン等) 2. LOCKIN(Basic move復習) 3. SOUL復習(フリーク、スパンク等) 4. LOCKIN(Basic move) 5. SOUL、LOCK応用①(アクセントの付け方) 6. SOUL、LOCK応用②(Step move) 7. SOUL、LOCK応用③(Floor move) 8. 卒公ナンバー振付① 9. 卒公ナンバー振付② 10. 卒公ナンバー振付③ 11. 卒公ナンバー振付+構成 12. 卒公ナンバー構成 13. 卒公ナンバー振り固め、踊りこみ① 14. 卒公ナンバー振り固め、踊りこみ② 15. リハーサル 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	バックダンサー実習								
担当教員	Ryosuke								
講師紹介	JAZZ、HIPHOP、コンテポラリー、JAZZ FUNK等幅広いダンスを修得。SMAPツアーダンサー、嵐等多くの楽曲でバックダンサーや総合演出を手掛ける。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	バックダンサーに必要な表現力や、構成のある動きへの対応力を身に付ける。								
授業概要	バックダンサーに必要な見栄えのする動き方や表現の仕方を追求していく。グループで踊ることによって隊列や形の揃え方、協調性を学び、また個人の持つ長所と短所を見つけ出し、自分を客観的に判断することによって、それぞれの個性を知っていく。人に魅せる意識を高め、いくつものバリエーションを学ぶことで、表現力の幅が広い踊り方を習得する。エンターテインメントの根源である、楽しませることを楽しむことで表現できるダンサーを育成する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス、受講者の自己紹介 2. 身体の使い方の基礎と表現① 3. 身体の使い方の基礎と表現② 4. 身体の使い方の基礎と表現③ 5. 身体の使い方の基礎と表現④ 6. グループ構成のあるダンスA① 7. グループ構成のあるダンスA② 8. グループ構成のあるダンスA③ 9. グループ構成のあるダンスA④ 10. グループ構成のあるダンスB① 11. グループ構成のあるダンスB② 12. グループ構成のあるダンスB③ 13. グループ構成のあるダンスB④ 14. 授業内発表 15. 授業の振り返り、まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	JAZZ振付・構成								
担当教員	Ryosuke								
講師紹介	JAZZ、HIPHOP、コンテポラリー、JAZZ FUNK等幅広いダンスを修得。SMAPツアーダンサー、嵐等多くの楽曲でバックダンサーや総合演出を手掛ける。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	学生が作品のコンセプトを理解し、振り付けの意味付けやラインを追求。グループでの協調性を意識する事で唯一無二の表現を目指す事で自分の個性を見出し、磨き成長する。								
授業概要	これまでの授業で習得してきたスキルを活かし、応用力を磨き、アップテンポからスローテンポまで幅広い振付・構成を行っていく。作品創りにおいてコンセプトを持ち、それを一緒に踊るメンバーと共有していく。グループで表現する事をメインに個である自分をどう表現していくべきか、客観的に捉え、自分らしさの見え方を追求していく事で新しい可能性を探り、JAZZダンスの総合的なスキル習得を目指す。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. JAZZ基礎トレーニング、コンセプト説明 2. JAZZ基礎トレーニング、振り付け① 3. JAZZ基礎トレーニング、振り付け② 4. JAZZ基礎トレーニング、振り付け③ 5. JAZZ基礎トレーニング、構成① 6. JAZZ基礎トレーニング、構成② 7. JAZZ基礎トレーニング、振り付け(パート別)① 8. JAZZ基礎トレーニング、振り付け(パート別)② 9. JAZZ基礎トレーニング、振り付け(パート別)③ 10. JAZZ基礎トレーニング、構成③ 11. JAZZ基礎トレーニング、構成④ 12. 作品の振り固め① 13. 作品の振り固め② 14. 衣装付き踊りこみ① 15. 衣装付き踊りこみ② 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	GROOVE JAZZ a								
担当教員	WREIKO								
講師紹介	「LEGEND TOKYO vol.3」セミレジェンド、永久シード権獲得。「WORLD OF DANCE FINALS'17」優勝他、世界初トリプル受賞。当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	基礎をしっかりと体に入れ込む。JAZZならではの表現の仕方、個性の出し方をダンスで表現する。								
授業概要	毎回の授業でアイソレーションやリズムトレーニングの基礎を徹底的に練習する。立ち姿、姿勢、呼吸の仕方も含め、ダンスに必要なことを、時間をかけて体に染み込ませていく。後半は音楽にあったダンスづくりや、ダンスでのコミュニケーションを重視し、自己表現力のアップを図る。それぞれの個性や魅力を引き出し、心とともに磨きを掛けていく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容ガイダンス、基礎練習の説明 2. ストレッチ、基礎、筋力作り、ルーティン 3. ストレッチ、基礎、筋力作り、ルーティン 4. ストレッチ、基礎、筋力作り、ルーティン 5. 基礎、シルエット作り、ルーティン 6. 基礎、シルエット作り、ルーティン 7. 基礎、サイファー、感情表現 8. 基礎、サイファー、感情表現 9. 基礎、筋力作り、応用ルーティン 10. 基礎、筋力作り、応用ルーティン 11. 曲決め、振り作り、グループ決め 12. 振り作り、衣装(ファッション)決め 13. グループでのラスト練習 14. 授業内発表 15. 個人個人のダンスでの会話 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の受け方								
テキスト・参考書等	授業の特性上不要								
備考									

科目名	GROOVE JAZZ b								
担当教員	WREIKO								
講師紹介	「LEGEND TOKYO vol.3」セミレジェンド、永久シード権獲得。「WORLD OF DANCE FINALS'17」優勝他、世界初トリプル受賞。当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	基礎をしっかりと体に入れ込む。JAZZならではの表現の仕方、個性の出し方をダンスで表現する。								
授業概要	毎回の授業でアイソレーションやリズムトレーニングの基礎を徹底的に練習する。立ち姿、姿勢、呼吸の仕方も含め、ダンスに必要なことを、時間をかけて体に染み込ませていく。後半は音楽にあったダンスづくりや、ダンスでのコミュニケーションを重視し、自己表現力のアップを図る。それぞれの個性や魅力を引き出し、心とともに磨きを掛けていく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. GROOVE JAZZとは、筋トレ等 2. JAZZ基礎 3. JAZZ基礎 4. 振り入れ(コンビネーション4×8) 5. 振り入れ(先週の続き) 6. 振り入れ(先週の続き) 7. 振り入れ(女性らしさを強調したもの) 8. 振り入れ(先週の続き) 9. 振り入れ(先週の続き) 10. 振り入れ(振り覚えの為の長コンビネーション) 11. 振り入れ(先週の続き) 12. 振り入れ(先週の続き) 13. 今までのまとめ、テストに向けて練習 14. 今までのまとめ、テストに向けて練習 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の受け方								
テキスト・参考書等	授業の特性上不要								
備考									

科目名	HIPHOP マスターc								
担当教員	KENTO								
講師紹介	「DANCE@LIVE」等日本国内の様々なBIG BATTLEに優勝。海外でのワークショップ、振付も担当。国対抗WORLD CREW BATTLE参加。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	ストリートダンスに必要な体の使い方を覚える。基礎を磨き、それを崩していくことで自身のダンススタイルの発見を目指す。								
授業概要	HIPHOPダンスに必要不可欠なベーシックステップとその派生を主軸に学ぶ。コレオグラフとしてではなく、カルチャーの時代背景を含めて1つのステップを掘り下げて習得していく。知識と技術を身体に馴染ませ反復して練習していくことで、プロダンサーとしての技術の向上と自信を身に付ける。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス 2. 基本ステップのレクチャーと派生の仕方① 3. 基本ステップのレクチャーと派生の仕方② 4. リズムトレーニングの崩し方 5. 様々なリズムのキープと応用 6. 基本ステップのレクチャーと派生の仕方③ 7. 基本ステップのレクチャーと派生の仕方④ 8. アイソレーションのバリエーション 9. アイソレーションとリズムのMIX① 10. アイソレーションとリズムのMIX② 11. ステップとアイソレーションのMIX① 12. ステップとアイソレーションのMIX② 13. 全過程を踏まえたルーティン 14. 全過程を踏まえたFreestyleソロ練習 15. まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上不要								
備考	授業の中でできないことがあれば必ず次の週までに反復練習を重ねて出来るようにすること。								

科目名	HIPHOPマスターd								
担当教員	KUMA								
講師紹介	クリスブラウン・フロントアクト、オマリオン来日イベント、「MAIN STREET」始め数々のダンスイベントに出演。「バックダンサーズ」等出演。MAY.J振付他。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	ストリートダンスに必要な基礎リズムを身に付ける。								
授業概要	HIPHOP ダンスを踊る上で必要なリズムの基礎練習を中心に、ストリートダンス全般に生かせるようなリズムトレーニングを行う。又、身体の動かし方・筋力トレーニングも行い、基本的な動きをスムーズに行えるようレッスンを進めていく。1人1人の個性や特徴を引き出し、伸ばしていく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介 2. リズムトレーニング＋身体作り① 3. リズムトレーニング＋身体作り② 4. リズムトレーニング＋身体作り③ 5. リズムトレーニング＋身体作り④ 6. リズムトレーニング＋身体作り⑤ 7. リズムトレーニング＋身体作り＋振り付け① 8. リズムトレーニング＋身体作り＋振り付け② 9. リズムトレーニング＋身体作り＋振り付け③ 10. リズムトレーニング＋身体作り＋振り作り① 11. リズムトレーニング＋身体作り＋振り作り② 12. リズムトレーニング＋身体作り＋振り作り③ 13. リズムトレーニング＋身体作り＋振り作り④ 14. まとめ 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	HOUSEマスターc								
担当教員	HIRO								
講師紹介	「DANCE FUSION」正式メンバー。「JUSTE DEBOUT 2017 PARIS」優勝他、数々の世界大会受賞。MISIAツアープロデューサー等。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	必修授業で学んだ基礎の上に、様々なニーズに対応できる応用力を身につける。 HOUSEダンスを自分のメインジャンルにすると仮定し、より高度な技術を習得すると共に、ダンス全般に活かせる知識を学び、プロダンサーとして必要なスキルの習得を目指す。								
授業概要	ハウス独特のリズム&ステップのベーシックパートを徹底的に練習し、レアなグルーブ感を身体で覚える。ステップの複雑な応用、活用方法を学び、体の使い方を理解し、同時に様々なパーツを使えるよう練習する。また、音楽に対してのアプローチ方法を学び、より高度な表現力を身に付ける。 基礎を集中的に学習した上に様々なニーズに対応できる応用力を習得し、技術と表現力を伸ばしていきながら、プロダンサーに要求されるオリジナリティを追求していく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション / リズムトレーニング / アイソレーション 2. コアの使い方・組合せ 3. ヒール&トゥを使用した応用 4. ツイスト活用 5. HIPHOPの動きとハウスステップ 6. ハウス応用①/体重移動によるリズム、ステップワーク 7. ハウス応用②/ニュースタイルハッスル活用 8. ハウス応用③/タップリズムトレーニング 9. ハウス応用④/フロアムーブ 10. 曲によるグルーブ変化、対応 11. フリースタイルコンセプト実用 12. 模擬バトル 13. オリジナルムーブ作成① 14. オリジナルムーブ作成② 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	HOUSEマスターd								
担当教員	HIRO								
講師紹介	「DANCE FUSION」正式メンバー。「JUSTE DEBOUT 2017 PARIS」優勝他、数々の世界大会受賞。MISIAツアープロデューサー等。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	HOUSEダンスをメインジャンルにすると仮定し、より高度な技術を習得する。また、ダンス全般に活かせるような知識とプロダンサーに必要な意識を身に着ける。								
授業概要	リズムやグループに対する理解を深め、基本的なことから応用までをマスターする。まずは身体のパーツ毎のアイソレーションや体重移動など、間接的に必要なテクニックを身に付け、ダンサーとしてのレベルアップを目標とします。 更にプロフェッショナルな意識の向上やフリースタイルに対応できるような感覚を習得し、フィジカル面以外での部分の強化を図り、応用力を身に付けます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. リズムトレーニング/アイソレーション 2. 体重移動によるリズム、ステップワーク 3. 音楽のフロウについて 4. スライド、グライド 5. フローティング 6. クラブ活用(応用) 7. ハウス応用/フロアムーブ① 8. フリースタイルコンセプト 9. ダンスヒストリー講座 10. ハウス応用/ムーブクリエイティブ 11. ハウス応用/ステップのつなぎ方 12. ハウス応用/フロアムーブ② 13. ハウス応用/ニュースタイルハッスル 14. ハウス応用/ターン 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	POPマスターc								
担当教員	BUMMEI								
講師紹介	「WDC KANTO ELIMINATION」「Kyushu Popping Summit vol.5 solo,2on2」優勝、他受賞歴多数。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	必修授業で学んだ基礎の上に、様々なニーズに対応できる応用力を身につける。 POPの基礎を組合せての発展、スタイルの理解度を深め、振りやインプロに対応できるダンス力の向上を目指す。								
授業概要	ポッピン・ブーガルー・アニメーションなど、様々なスタイル全般を集中して学習。 リズム、音楽、成立ちを理解し、ダンスで表現できるトレーニングを行う。振り重視ではなく、リズムを感じ、それに合わせて表現する事を重視する為、少人数での発表やインプロへのアプローチ、考え方を学ぶ。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション / 授業内容ガイダンス 2. 基礎の確認と応用①(POPPING等) 3. 基礎の確認と応用②(ベーシックムーブ等) 4. 基礎の確認と応用③(アイソレーション等) 5. 基礎の確認と応用④(ステップ等) 6. スタイルの確認と応用①(トイマン等) 7. スタイルの確認と応用②(スケアクロー等) 8. スタイルの確認と応用③(パペット等) 9. スタイルの確認と応用④(アニメーション) 10. インプロトレーニング① 11. インプロトレーニング② 12. インプロトレーニング③ 13. インプロトレーニング④ 14. 前期まとめ 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解、成果発表								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	POPマスターd								
担当教員	がんそ								
講師紹介	「WDC KANTO ELIMINATION」優勝他。第65回NHK紅白出演、KEYTALK、ジャスティンビーバー「sorry」、オリラジ藤森ver等MV出演。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	必修授業で学んだ基礎の上に、様々なニーズに対応できる応用力を身に付ける。 前期で取得したPOPダンスの応用を組合せての更なる発展、別の角度からのスタイルの理解度を深める。								
授業概要	POPダンスの応用に加え、他ジャンルのダンスにPOPのテクニックを応用する上で必要なスキルを理解し、習得する。POPダンスをメインで考えている学生、そうではない学生も包括的にPOPダンスを学ぶ事でより細かく自身の体の動かし方を把握し、身に付ける。結果、振り付けを踊れるようになることはもちろん、ルーティーンを創作できるスキル、即興でのダンスでもPOPで対応できるようなストリートダンサーとしての知識を取得する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス/リズムトレーニング 2. アイソレーション/ヒットの打ち分け① 3. POPのリズムについて/ステップの種類について① 4. ウェーブ、パントマイムについて① 5. アイソレーション/ヒットの打ち分け② 6. POPのリズムについて/ステップの種類について② 7. ウェーブ、パントマイムについて② 8. これまでの授業の復習と組み合わせ 9. 振り作り+フリー(即興)での踊り方とコツ① 10. 振り作り+フリー(即興)での踊り方とコツ② 11. ダンスバトル練習 12. 授業復習① 13. 授業復習② 14. 後期まとめ/課題レッスン 15. 課題発表 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業理解、成果発表、課題・レポート、また、講義外の活動も評価の参考とする。								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	LOCKマスターc								
担当教員	Atsushi								
講師紹介	「FREESTYLE SESSION JAPAN '08'09」優勝。「JAPAN DANCE DELIGHT vol.15/16/18」FINALIST選出。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	LOCK DANCEの基礎とカルチャーを理解し、LOCK DANCERとしての応用力を身に付ける。								
授業概要	LOCK DANCEの基礎やカルチャーを理解し、それを発展、応用させる。ソロの練習やバトル、またはセッションなども行い、個人レベルの向上を図る。グループワークを通して、ショーの作り方を研究し、ショーケースやコレオグラフの作り方も学ぶ。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス 2. 基礎① 3. 基礎② 4. 基礎③ 5. 基礎④ 6. 基礎⑤ 7. ルーティーンの作り方 8. 応用① 9. 応用② 10. 応用③ 11. 応用④ 12. 応用⑤ 13. バトル 14. LOCKINGカルチャーについて 15. まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)								
テキスト・参考書等	授業の特性上不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	LOCKマスターd								
担当教員	Atsushi								
講師紹介	「FREESTYLE SESSION JAPAN '08'09」優勝。「JAPAN DANCE DELIGHT vol.15/16/18」FINALIST選出。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	LOCKダンスの基盤を底上げすると共に、個人個人の見せ方や技術の成長を促す。振り作りやソロの向上を目的とします。								
授業概要	前期で行った基礎をベースにLOCKダンスの応用(難解な振りの構築、個人個人のソロのレベルアップ)を促します。生徒自身で振りを作らせ理解、解説を行い、振り付けだけでなくソロダンス(バトルやショーケース)を習得する事によりダンススキルの向上、成長を目標とします。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. LOCKダンス(基礎復習) 2. LOCKダンス(応用)① 3. LOCKダンス(応用)② 4. LOCKダンス(応用)③ 5. LOCKダンス(応用)④ 6. LOCKダンス(応用)⑤ 7. ソロダンス演習 8. 振り作り/チームダンス① 9. LOCKダンスカルチャー講座 10. LOCKダンス(応用)⑥ 11. LOCKダンス(応用)⑦ 12. LOCKダンス(応用)⑧ 13. LOCKダンス(応用)⑨ 14. 振り作り/チームダンス② 15. まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	HIPHOP基礎強化								
担当教員	MAME/SHINICHI								
講師紹介	「CHAOS」と「Dig kidz」というhippop teamで活動し、数多くのイベントにゲスト出演し、「CHAOS」主催のイベントも担う。現在ダンススタジオのインストラクターとしても活躍している。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	確かな基礎を基に、ダンスの仕事・あらゆる現場に対応しうるスキル・応用力を身に付けると共に、ダンサーとしての個を磨く。								
授業概要	基礎を固め直すと共に独自のスタイルを取り入れ、技術と表現力を伸ばしていく。レッスンではベーシックステップの復習とニュースクール的なセンスの獲得を目指し、徐々にトリックを加えていく。個性を活かしたアレンジも加えながら、センスの体得を図り、HIPHOPダンスを一通りできるようにマスターしていく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ストレッチ、リズムトレーニング、ルーティン 2. ストレッチ、リズムトレーニング、基本動作(ソウルステップ)、ルーティン 3. ストレッチ、ルーティン(スウィング等) 4. ストレッチ、リズムトレーニング、基本動作(レゲエステップ)、ルーティン 5. ストレッチ、リズムトレーニング、基本動作(シェイク)、ルーティン 6. ストレッチ、リズムトレーニング、ルーティン 7. ストレッチ、基本動作(シャムロック、ムーンウォーク)、アイソレーション 8. ストレッチ、アイソレーション、ルーティン 9. ストレッチ、リズムトレーニング、フリーの練習 10. ストレッチ、ルーティン、振り 11. ストレッチ、基本動作(ドギー等)、アイソレーション、ルーティン① 12. ルーティン② 13. ルーティン③ 14. ルーティン④、ソロ 15. テスト 								
評価方法	基礎的な体の使い方や動きが正しく出来るか								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	HOUSE基礎強化								
担当教員	HIRO								
講師紹介	「DANCE FUSION」正式メンバー。「JUSTE DEBOUT 2017 PARIS」優勝他、数々の世界大会受賞。MISIAツアープロデューサー等。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	1年次に習得したHOUSEステップを応用して、自在に応用できることを目標とする。音楽に合わせたステップの選び方やより深い知識を身に付ける。								
授業概要	より複雑なステップを習得して、動きのポキャブラリーを増やしていく。基本ステップの応用、活用の方法を理解して、より自然にフリースタイルの即興が行えるように練習する。音楽によって変化するフィーリングやコンセプトを理解して、ダンスに幅を持たせ、HOUSEダンスを一通りできるようにマスターしていく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス、復習 2. ヒールアンドトゥ、ルースレッグスの応用 3. サイドウォーク、パドルの応用 4. ステップの組み合わせによる実技 5. バックスキップ、ファーマーの応用 6. 3連などの高速ステップ 7. フリースタイルコンセプトの基本 8. 音に対するフロウの取り方 9. フロアムーヴ基本 10. フロアムーヴ応用 11. 上半身を使ったステップ応用 12. ニュースタイルハッスル 13. 指導者としての考え、方法論 14. 実技テスト 15. 授業の振り返り、まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上不要								
備考	自分自身で理解し、挑戦することが重要になる。他人に頼らず自分で行動し、練習、復習を欠かさないこと。								

科目名	POP基礎強化								
担当教員	CGEO								
講師紹介	「JAPAN DANCE DELIGHT」等、優勝上位入賞。「UK Bboy Championship」「Juste Debout」等の世界大会日本代表を歴任。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	基礎を使い様々な音楽への対応力を高め、更に個性を出していける様に応用力を高める。								
授業概要	様々なテクニックの基礎を固め直し、応用していける様に更に細かいスタイル(パペット、トイマン、スケアクロウ、キングタット、コブラ等)の習得。また、それらを駆使して即興ダンスやルーティーン作りを行い、その中に個性を出していけるように進める。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本動作①(フレズノ)+ブガルーコンビネーション 2. 基本動作②(ダブル打ち)+スライドコンビネーション 3. 基本動作②の応用+トイマンスタイル 4. 基本動作③(ネックオーレックス)+フレックスコンビネーション 5. 基本動作④(サックウオーク)+キングタット 6. 基本動作⑤(マスターオーレックス)+タットコンビ 7. 基本動作⑥(ウェーブ)+ウェーブコンビネーション 8. 基本動作⑦(ウオークアウト)+スケアクロウ 9. 基本動作⑧(足元のロール)+クレイジーレッグス 10. 基本動作⑨(ボトムファースト)+ロールコンビネーション 11. 基本動作⑩(キングコブラ)+ロボットスタイル 12. 基本動作⑪(ツイストオーレックス)+振付作り 13. 基本動作反復+振付作り 14. 全ての反復 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	LOCK基礎強化								
担当教員	SETO								
講師紹介	DANCE TEAM Be BOP Crewメンバー。現在はクラブシーンを中心に振付け、演出、座長(SNAZZY DOGS) WDC等、他幅広いメディアで活躍。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	確かな基礎を基に、ダンスの仕事・あらゆる現場に対応しうるスキル・応用力を身に付けると共に、ダンサーとしての個を磨く。								
授業概要	1年次で行った基礎を固め直すと共に、LOCKの特徴的な動きを身に付け、センスの体得を目指しながら独自のスタイルを模索していく。レッスンではスクーバップ、STOP&GO等のコンビネーションを習得し、更なるレベルの向上を図ると共にLOCKダンスを一通りできるようにマスターしていく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本ステップ・動作(リズムトレーニング、6ステップ) 2. 基本ステップ・動作(60's dance等) 3. 基本ステップ・動作(70's dance等) 4. 基本ステップ・動作(80's dance等) 5. 基本ステップ・動作(Go Go,16ビート等) 6. ルーティーン① 7. ルーティーン② 8. 基本ステップ・動作(スニーク、ヒッチハイク等) 9. ルーティーン① 10. 応用ステップ・動作(リズムの変化) 11. ルーティーン① 12. 基本Moveを応用してレベルUP 13. 振り付け① 14. 振り付け② 15. 振り付け③ テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	セルフプロデュースⅡ								
担当教員	HIRO								
講師紹介	「DANCE FUSION」正式メンバー。「JUSTE DEBOUT 2017 PARIS」優勝他、数々の世界大会受賞。MISIAツアープロデュース等。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	卒業後のダンサー活動に必要な知識を身に付け、より多様性がある活動の方法を考える。								
授業概要	ダンサーとして、動きだけではなくダンスにまつわる様々な知識を身に付け、フリーランスとして活動していく際に役立つ情報を座学によって学ぶ。グローバルに活躍するために欠かせない英語や、プロモーションに必要な映像編集、卒業後のより具体的なダンス活動について理解を深める。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進路レクチャー 2. イベントオーガナイズについて 3. アーティスト写真、プロフィール作成 4. 映像編集① 5. 映像編集② 6. ダンスサミット 7. インストラクター実習① 8. インストラクター実習② 9. 英語① 10. 英語② 11. フライヤーデザイン 12. インストラクター実習③ 13. 照明基本知識 14. フィジカルケア 15. まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上不要								
備考	筆記用具持参								

科目名	ダンサー社会知識								
担当教員	HORIE								
講師紹介	84年16歳でBREAKダンサー。浜崎あゆみ・パクヨンハ・KAT-TUN他コンサートツアーの振付担当。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	ダンサー、表現者、エンターテイナーに必要とされる身体的技術、社会性、ダンス知識の習得。								
授業概要	授業では学生がエンターテイナーとしての本質を学び、表現力を鍛え、心身共に豊かな表現力を持つダンサーを育成する。具体的にはダンスの歴史を掘り下げ、あらゆる時代のダンスを知ることにより、ダンスとしての知識を深める講義やダンサーとして生活していく為の知識、ダンス生活術を学ぶ。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス、受講者自己紹介 2. Be Bopステップ基本型 3. ダンス生活術① 4. ダンスの歴史① 5. 自己表現①発生法、セリフの話し方 6. Be Bopステップ②応用ステップ 7. Be Bopコンビネーション① 8. ダンスの歴史② 9. ダンス生活術② 10. 自己表現②オリジナルRAP制作 11. ストリートダンスカルチャー(探求セミナー) 12. Be Bopコンビネーション② 13. 公演用振り付け① 14. 公演用振り付け② 15. テスト 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)※受講者の個性重視								
テキスト・参考書等	DVD等の映像資料								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	学園行事Ⅱ								
担当教員	船場吉行(他、教員が担当)								
講師紹介	1993年東京アナウンス学院就任。東放学園高等専修学校を経て、東京アナウンス学院放送声優科を担当、進路指導に携わる。現在は学科を離れ経験を活かした授業等を担当の他、マネジメント業務に従事する。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	通年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学園行事を通じて様々なイベントを体験することで協調性とコミュニケーション能力が高まる ・社会性。一定のルールの下で行動することで、自身がクラスやグループの一員であることを自覚する。 								
授業概要	<p>学生が2年間で体験する学園生活の中で、起点となるイベントは卒業後振り返ってみても実に思い出深いものになることが多い。本校の学園行事は日頃の専門教育から離れて学科間を越え、時には学校間を越えて、ひとつのことを共に経験する過程で得る、貴重な体験を積んでほしい。通り一遍の参加ではなく、積極的な取り組みを願う。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラス合宿1日目／アドバイザー企画のイベント、面接他 2. クラス合宿2日目／アドバイザー企画のイベント、面接他 3. 東放学園合同運動会／エントリー種目、全員参加種目他 4. スポーツ大会／クラス対抗ドッチボール参加、他 5. 学園祭①／クラス・クラブ、有志団体参加他 6. 学園祭②／クラス・クラブ、有志団体参加他 								
評価方法	イベント毎に参加した際の平常点を総合して判断								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	現地集合のイベントの場合は交通事情をよく調べてから行動を起こすこと								

科目名	特別講座Ⅱ								
担当教員	特別講師								
講師紹介	講師はオムニバズ形式。学科担当者がゲスト講師を決める。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	通年
到達目標	常に現場の需要に対応していく為、最新のスタイルや流行のジャンルに触れ技術と感度を高める。								
授業概要	オールジャンルにおける流行スタイル、話題のダンサーによるレッスンやめったに受けられない一流ダンサーによるレッスン、海外ダンサーによるレッスン等、年間通して多数の特別授業を行います。普段の授業では接することのない講師や内容に接し、視野を広げると共にプロダンサーを目指した意識の向上を図ります。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 特別ダンスレッスン① 3. 特別ダンスレッスン② 4. 特別ダンスレッスン③ 5. 振り返り 6. 特別ダンスレッスン④ 7. 特別ダンスレッスン⑤ 8. 特別ダンスレッスン⑥ 9. 振り返り 10. 特別ダンスレッスン⑦ 11. 特別ダンスレッスン⑧ 12. 特別ダンスレッスン⑨ 13. 特別ダンスレッスン⑩ 14. 振り返り 15. まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	動きやすい服装、屋内用シューズ、必要な場合は着替えを持参する事。								

科目名	洋楽ポップス								
担当教員	市村 宏								
講師紹介	海外留学を経て数多くのオペラや、ミュージカルのメインキャストとして出演。Special Soul Unit'Real Blood'の一員。現二期会正会員。担当教員はヴォーカリストとしての実演経験を生かし、発声や歌い方等の授業を行う。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	普遍的な洋楽ポップスをレパートリーとする事で、オーディション等で、一歩抜きん出た歌唱技術を得る。								
授業概要	流行に全く左右されず、時代は変わっても、今だに誰もが一度は耳にした事がある、そんな曲が洋楽ポップスの中には数多くあります。そんな曲を実際に歌ってみる事によって、自分の守備範囲をかなり拡大する事が出来るでしょう。オーディションの自由曲等でも確実に目立ちます。(但し、ちゃんと歌えた場合)洋楽なので、歌詞は英語です。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 呼吸・発声練習 3. 同上をルーティンとして課題曲① 4. ルーティン 課題曲① 5. ルーティン 課題曲① 6. ルーティン 課題曲② 7. ルーティン 課題曲② 8. ルーティン 課題曲② 9. ルーティン 課題曲③ 10. ルーティン 課題曲③ 11. ルーティン 課題曲③ 12. ルーティン 課題曲④ 13. ルーティン 課題曲④ 14. ルーティン 課題曲④ 15. 実技テスト 								
評価方法	授業への取り組み方/出席率/実技テスト								
テキスト・参考書等	楽譜を配布します。								
備考	水分補給が出来るものを必ず持参して下さい。								

科目名	オーディション実習								
担当教員	堀口 博史								
講師紹介	プロダクション代表／タレントマネージャーとして30年以上の実績。300名以上のタレントを育成した経験を活かし、新人タレントのデビューに向けてノウハウを指導する。担当教員は長年業界に携わり多くの新人を輩出。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	オーディションをどのように受ければ良いか、合格への確率を高める。								
授業概要	今は、事務所に入るにも、仕事を取るにも何らかのセレクション(オーディション)を受けます。オーディションを通るには、全体的な方向性よりは、個々のキャラクターによります。その個々により、合格への確率を高める学習カリキュラムになっています。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス 2. 自己紹介 3. 自己PR 4. 業界説明 5. 原稿を使用したオーディション① 6. 原稿を使用したオーディション② 7. フリートーク① 8. フリートーク② 9. 演技オーディション① 10. 演技オーディション② 11. カメラワーク① 12. カメラワーク② 13. カメラワーク③ 14. プロダクションとは 15. 総論 								
評価方法	平常点(出席、取り組み姿勢等)、授業内容の理解度・達成度								
テキスト・参考書等	特になし※必要な場合は用意します								
備考	特にありませんが、都度お知らせします。								

科目名	オーディション実習								
担当教員	柳澤 孝則								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。地元の大学を卒業後、アイドル、俳優、タレント、モデルの芸能マネージャーとして5年程勤務。その後、学校法人東放学園に入社。現在は担当学科と進路に関する業務に携わる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	自分自身を客観的に理解し、自身を表現できるプロフィール用紙、自己PRの作成しオーディションに対する意識を身に付ける。								
授業概要	プロフィール用紙の書き方や自己PRなどオーディションに向けてのサポートを行います。自身を表現できるPRの完成をサポートできるよう、コミュニケーションをとりながらアドバイスを送ります。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 自己紹介・進路調査 3. プロフィール用紙の書き方① 4. プロフィール用紙の書き方② 5. 自己PR① 6. 自己PR② 7. 業界講座 8. ビジネスマナー・メール講座 9. 自己PR③ 10. 質疑応答① 11. 質疑応答② 12. 模擬オーディション① 13. 模擬オーディション② 14. 模擬オーディション③ 15. まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	特にありませんが、必要な場合は都度お知らせします。								